

一般質問



動画視聴

自民・未来クラブ
桑原 誠 議員

人口展望

問 内閣府の地方人口ビジョン策定の手引きをもとにした将来人口展望の実現性は。

答 本市では、社会動態の均

衡や合計特殊出生率を人口置換水準である2.07に改善することを前提に、2060年の将来展望人口を7万5,320人としている。

この4年間では、人口動態において幾つかは改善傾向が見られ、今回行った推計では、若年層の数で、その後の将来の人口全体に与える影響が大きいこと、また、若年層そのものの数をふやさないと自然動態の改善へと結びつかないことが明らかになった。

次期総合計画においても、

第5次総合計画に引き続き人口減少対策を喫緊の課題と捉えて重点的に取り組んでいきたい。

財政

問 今後の財政の見通しについて聞きたい。

答 財政構造強化指針で示した収支試算においても、何も今後対策を講じない場合に財政調整基金がなくなることとも考えられるので、様々な取り組みを、今後進めていきたい。



動画視聴

自民・未来クラブ
森 電子 議員

開発行為における公園等の設置基準の緩和を

問 本市における公園数と住民一人当たりの面積、維持管理費について聞きたい。

答 公園は243カ所あり、一

人当たりの面積は10.8平方メートル。維持管理費は約1億6,000万円となっている。

問 公園は健康や防災の観点からも重要であるが、一方で老朽化や除草作業などの維持管理費も大きな負担。開発行為における公園等の設置基準緩和を検討すべきと思うが。

答 メリットとして、維持管理費の抑制や公園用地が宅地として分譲され、固定資産税がふえることなど考えられる。

公園配置状況や地域の特性も踏まえ検討していきたい。

まちづくりの観点も踏まえ松原へ小中一貫校の実現を

問 松原中学校は小中学校が隣接しており、併設型を導入するには好条件。都市基盤も整い、近くに帝京大学等もあり学園都市ゾーンとしてイメージアップにもなる。小中一貫校を設置すべきと考えるが。

答 学校再編における第2期実施計画に向けては、まちづくりの観点や説明会などで出た意見・要望を参考とし、行政として総合的に判断したい。



動画視聴

無所属
北岡 あや 議員

市の保健所でなくなっても福祉サービスの維持を

問 指定難病・原爆被害者・小児慢性特定疾病等の医療費助成の手続については、対象者が病気であり、高齢者も多

いことから、県への保健所移管の影響は著しい。市民のためには、県から委託を受けて、市が業務を継続すべきでは。

答 協議中だが、来年度1年間に限り本市が引き続き行う。それ以降は、県が業務を行う。

再発言 県の出張所や出向も含め、サービスの低下とならぬよう協議・対策を求める。

保育の質確保のためにも支援員の処遇改善は待ったなし

問 学童保育所へ入所を希望しても入れない原因課題は。

答 市内の待機児童は35名だが、一番の課題は支援員の確保。労働環境や処遇改善にも課題がある。国などの状況を見ながら、改善を検討したい。

再発言 低学年の利用は増加傾向にあり、潜在的な待機児も多い。この待機児の解消、障がいのある子どもの入所の保障とともに、保育の質確保のための支援員確保が必要。それには支援員の処遇改善が必要。市の姿勢の問題も大きいため、今後、指定管理のあり方や内容を見直されたい。